

2024年3月2日(土)夜『神聖で繋がり合う日』 メール前文と始めの話ほか

2024年3月2日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

現象界に存在するすべての物質波動と精神波動の隅々にまで神聖の光が行き渡り、すべての常住波長が神聖の領域にあることを示すとき、人類同士の不和は過去となり、生物を苦しめた病気は過去の苦惱になります。

また、その時代に地球に展開される科学は、今のようにデメリットを含むものではなく、すべてに利する大調和の科学的発明・発見が展開されるように変わるといわれています。

その頃には、人類の生き方も大きく変わり、自然や生きとし生けるものを蹂躪するような生き方は影を潜め、全員がすべてを和する大調和の精神を元にした大和の心を標準装備した生き方をしていると思います。

そこへ至るための人類共通の課題は、一にも二にも神聖を甦らせ、自らの想念・言動行為に活用して過ごすことです。それ以上でも以下でもなくそれそのものです。そしてその鍵を握っているのは、人類に先駆けて神聖に目覚めた人々です。

そのように神聖が目覚めた人々は現在、地球のあちらこちらで散見することができます。また日本においては、神性を身に修めて生きようとする動きが、宗教とは無関係のところにおいても拡がり始めています。

そのような意味で私達は今、違う道を歩んできた思想の根幹を同じくする魂の同志たちと手に手を取り合い、共通の未来へと進むべき段階に足を踏み入れています。

その時代を正しく歩むためには、「自分たちだけが正しく他の集団や個人は正しくない」とか、「いくら同じ方向を目指していても、自分たちが上で、他人は下だ」といった選民思想や独善思考を今すぐに脱ぎ捨てる必要があります。

私達が何十年にも渡って魂に刻み込んできたとおりに、すべての人は神聖の存在であります。生命の本質が神聖であるという観点には上下・優劣はなく、ただ役割と働きの違いがあるだけです。

神聖の視座に立った私達は、「地球を平和な星にする」という共通の目的の下に働いています。そうした私達は、志を同じくする地球上のすべての人々とも手を繋ぎ、共に働くことができます。

そこへ至る最後の準備は、己の神聖に微塵の疑いもない心境を完成させることです。そうすることで、どんな人の神聖も認められる意識が当然のものとなるからです。

土曜日の夜は、一人一人が自分の神聖を100%認めて、五感に映し見える二元対立の見方・感じ方を無条件の愛で抱きしめながら、地球の大自然と生きとし生けるものと人類すべてに、いのちの源からの光を放ってまいります。

2024年3月2日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 初めの話

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。本日のプログラムは次のような流れで行ないます。はじめに約9分の世界平和の祈りを行ないます。次に、私達自身の神聖を微塵も疑わずに認める練習の時間を取って、そのあとはいつものように、自然環境への感謝の印を行ない、神聖復活の印を七回組んで、最後に三分半の世界平和の祈りで終わりにいたしますので、よろしくお願ひします。それでは、世界平和の祈りを日本語と英語で行なってまいります。

1. 《世界平和の祈り》

2. 《自己の神聖を100%認める時間》

それではご自身の神聖を100%認める時間に入ります。はじめに、神聖を標準装備した精神状態がどのような現実を見ているか、そこへ至る前の状態と至った後の状態を言葉に表わして読み上げます。それを聞きながら、ご自身の想いがどう反応しているかを観察してください。そのときに、もしも「自己限定の想いが神聖と自己を引き離そうとしているなあ」と思われましたら、その想いを守護霊様に明け渡して、「私は神聖の存在である」と心の中で宣言し続けてみてください。それでは始めます。

2-1. 神聖の存在として生きるために

神聖の存在として魂の本質を甦らせて生きるために
何事にも先んじて私達が行なうべき事は
人間生命の本質を知り
その在り方を心と体に染み渡らせること

生き方に落とし込んでこそ
その知識に命が宿り
無限なる種々の力と直結して
想念・言葉・行為に神聖が輝き渡る

知識としての神聖を
どれほど蓄積したとしても
日常生活に活かさないなら
なんの役にも立ちはしない

「一真実行は万理を識るに勝る」
この神示にあるように
私達はよかれと信じた
一つの真の行ないを行じ続けた

それは 生命の本質に神聖を認め
神聖ならざるは消えてゆくと信じ

守護の神霊の加護に感謝しながら
世界人類の平和を心から祈ること

世界人類が平和でありますように
我即神也・人類即神也
すべては完璧、欠けたるものなし、大成就。
神聖復活、大成就。

一年・三年・五年・七年・十年・二十年・
三十年・四十年・五十年・六十年・七十年
業想念に引き戻されながらも
私達は一日も欠かすことなく祈り続けた

その結果
今私達の目に映る世界は
昭和の時代とも 平成の時代とも
まるで異なる光一元の世界

正確に言えば 現象面は混迷の度合を増し
地球の運命は風前の灯に見えながら
五感に映ずる事物(じぶつ)の奥に
神聖の輝きが重なり合って観えている

あの人もその人もこの人も
海も山も川も湖も大地も空気も
生きとし生けるもの達にも
私達は今 神聖を認めている

国内事情のその奥に
世界情勢のその奥に
天変地異のその奥に
神々天使の導きがハッキリと観えている

飢餓に苦しむ人々の背後に
戦争や紛争に巻き込まれた人々の背後に
圧政に蹂躪される人々の背後に
諸神善霊による善導の事実が観えている

私達の祈りは
天の諸神善霊

宇宙の神々天使群と
歩みを共にした祈り

そのはじめの一步は
自らの神聖を当り前と観(み)
無限なる種々の力を
想念・言葉・行為に顕わす練習

神聖の力を自らに顕現するコツは
「こうありたい」とイメージしたことを
“出来ている” “その力がある” “やれて当り前”
といった神聖意識の初期設定から取り組むこと

それを可能にするのは
日々のたゆみない光明思考の練習
不可能だと思わなければ不可能はない
出来ると思えばすべては出来る

振り返り観れば いかなる運命も
思い通りに行かぬこと多けれど
思った通りにはなっていた
それは意識の初期設定のなせる業(わざ)

意識に神聖の初期設定を施そう
諦めずに“我即神也”を唱え続け
守護の神霊と一体化して生きよう

そうすればいつの間にか
光一元の世界を“今ここ”に認めている
肉体性の神人の姿を
自己の心身に観ていることに気が付くだろう

2-2. 光の言葉を唱える時間

ここで、短い光の言霊を五分間、間を開けずに繰り返し唱えます。今から行なうことは、自分自身が神聖の存在であることを、顕在意識と潜在意識の隅々にまで行き渡らせる練習です。これを何度も何度も繰り返し、諦めることなく繰り返してゆけば、いつかの段階でそれらの言葉が当り前になり、観ている世界が変わります。ご自宅や外出先にて、ご自身で行なわれる場合は、ご自身の神聖を表現する言葉で

あれば、どのような言葉でも構いませんので、好きな言葉で行なってみてください。それでは始めます。

私は神そのものである。
それ以外の何ものでもない。
故に、私は何ものにも犯されることがない。
我即神也。○○○さん即神也。

私は神そのものである。
それ以外の何ものでもない。
故に、私は何ものにも犯されることがない。
我即神也。○○○さん即神也。

私は神として想い、神として語り、神として行動している。
神聖ならざる想念・言動行為は我にあらず。
私の想念・言葉・行為は神聖そのものなり。
我即神也。○○○さん即神也。

私は神として想い、神として語り、神として行動している。
神聖ならざる想念・言動行為は我にあらず。
私の想念・言葉・行為は神聖そのものなり。
我即神也。○○○さん即神也。

今の私は神としてここに居る。
故に、神聖ならざる癖が出て来た時に、
冷静に消えてゆく姿と見ることが出来るのである。
我即神也。○○○さん即神也。

今の私は神としてここに居る。
故に、神聖ならざる癖が出て来た時に、
冷静に消えてゆく姿と見ることが出来るのである。
我即神也。○○○さん即神也。

神である私に不可能はない。
私の天命を完うする為のことであるならば、
必ずすべては成就するのである。
我即神也。○○○さん即神也。

神である私に不可能はない。
私の天命を完うする為のことであるならば、
必ずすべては成就するのである。

我即神也。○○○さん即神也。

神である私は、想いあぐねることがない。
何事も第一直観に従い、迅速に行動している。
故に道は開かれ、次なる展開を見据えている。
我即神也。○○○さん即神也。

神である私は、想いあぐねることがない。
何事も第一直観に従い、迅速に行動している。
故に道は開かれ、次なる展開を見据えている。
我即神也。○○○さん即神也。

自らの内なる宇宙を調和させて以降の私は
他者に責任転嫁して被害者ぶることが無くなった。
すべては自己責任の真理を体得したからだ。
我即神也。○○○さん即神也。

自らの内なる宇宙を調和させて以降の私は
他者に責任転嫁して被害者ぶることが無くなった。
すべては自己責任の真理を体得したからだ。
我即神也。○○○さん即神也。

<地球世界感謝行>の前のお話

次は、印による地球世界感謝です。神聖を思い出した私達が、自然や生きとし生けるものと一体化した心で、各項目に感謝を捧げてまいります。

<神聖復活の印>の前のお話

次は、神聖復活の印です。本日は、私達が組む印の光が、時空を超えた太陽の光のように、全方向から地上を照らしていることをイメージしながらお組みください。宣言はありませんので、「はい」と申し上げたらご一緒にお組みください。

<世界平和の祈り>の前のお話し

最後に、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。それでは始めます。